

東京バッハ合唱団 月報

[第 614 号] 2013 年 8 月号

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 5-17-21-101 <http://bachchor-tokyo.jp/>
Tel: 03-3290-5731 Fax 専用: 03-3290-5732 郵便振替: 00190-3-47604
Mail: office@bachchor-tokyo.jp (変更) bachchortokyo@aol.com (2013 年 2 月閉鎖)

BACH-CHOR, TOKYO

Monthly Newsletter No. 614

August 2013

5-17-21-101 Funabashi,
Setagaya-ku, Tokyo

野尻湖 2013 特集

野尻湖コンサート「バッハ作品の午後」

“Afternoon with Bach Music”

東京バッハ合唱団、今年の夏の野尻湖合宿は、8 月 8 日（木）から 11 日（日）までの 3 泊 4 日です。恒例の湖畔コンサートは、10 日（土）の午後 4 時開演（5 時半終了予定）。入場無料。詳細は右の囲みをご覧ください。

恒例の野尻湖コンサートは、今回で第 40 回目となります。私たちの定期演奏会では、東京カンタータ室内管弦楽団の一員として毎回ご協演くださるチェロの船田裕子さんとヴァイオリンの岩戸有紀子さんのお二人をゲストとし、ふだんの練習ピアニストで、ドイツ巡演ではオルガニストとしても活躍された金澤亜希子さんとともに、豪華な伴奏陣をお迎えします。

今回のプログラムの中心となる「カンタータ第 76 番《主の栄光を 天は語り》」は、《クリスマス・オラトリオ》後半とともに、年末の定期演奏会の演目となるものです。バッハのライプツィヒ転居直後、なんとトーマス・カントル就任式の 5 日後の初演とされています（次ページの解説参照）。30 年間の前半生で培ってきた楽想と技法の粋を駆使した名曲中の名曲。定演の本番ステージではプロの独唱者たちの演じる楽曲もふくめ、今年の野尻湖でもまた、団員が全曲を歌います。

会場の神山教会は、野尻湖国際村（NLA）にたたずむ宣教師時代の古い木製のチャペルであり、夏のあいだ滞在する大半が欧米人の避暑客が、毎年の合唱団の訪問を楽しみに待ってくださいます。

お近くにお越しのご予定のある方は、ぜひお立ち寄りいただき、ご来聴ください。

なお、現地での滞在先（練習会場）と期間は、下記のとおりです：

野尻レイクサイドホテル（長野県上水内郡信濃町大字野尻 197-2、TEL. 026-258-2021）。

滞在期間：8/8（18 時）～8/11（12 時）。

東京バッハ合唱団

野尻湖コンサート「バッハ作品の午後」

2013 年 8 月 10 日（土）4:00 PM

神山教会（野尻湖・国際村）

BACH-CHOR, TOKYO

KAMIYAMA CHURCH SPECIAL CONCERT

“Afternoon with Bach-Music”

August 10, 2013 (Sat.) 4:00 PM

NLA AUDITORIUM (KAMIYAMA CHURCH)

LAKE NOJIRI

入場無料 Admission Free

ヴァイオリン: 岩戸有紀子 Iwato Yukiko, Violin
チェロ: 船田裕子 Funada Yuko, Violoncello
ピアノ: 金澤亜希子 Kanazawa Akiko, Piano
合唱: 東京バッハ合唱団 Bach-Chor Tokyo, Chorus
指揮: 大村恵美子 Ohmura Emiko, Conductor

■ 《無伴奏チェロ組曲 第 1 番》より

From “Suite G-dur für Violoncello solo” BWV 1007

■ カンタータ第 76 番《主の栄光を 天は語り》

Kantate “Die Himmel erzählen die Ehre Gottes” BWV 76

■ みんなで歌いましょう: コラール《イエス わが喜び》

カンタータ第 147 番より

Choral “Jesu bleibet meine Freude” from Kantate BWV 147

*

日本語訳詞 大村恵美子

Japanese Translation: Ohmura Emiko

お問い合わせ Information

東京バッハ合唱団 BACH-CHOR, TOKYO

TEL : 03-3290-5731 FAX 専用 : 03-3290-5732

E-Mail : office@bachchor-tokyo.jp

<http://bachchor-tokyo.jp/>



■湖畔の神山教会、開演前（写真・松尾茂春 2002/08/03）

プログラム

■チェロ独奏（船田裕子）

《無伴奏チェロ組曲第1番》BWV1007より

Prelude ~ Menuette ~ Gigue

■ヴァイオリン、チェロ、ピアノと合唱・斉唱

カンタータ第76番《主の栄光を天は語り》

<第1部>

1. Coro, 2. Recitativo(T), 3. Aria(S), 4. Recitativo(B),

5. Aria(B), 6. Recitativo(A), 7. Choral

<第2部>

8. Sinfonia, 9. Recitativo(B), 10. Aria(T), 11. Recit.(A),

12. Aria(A), 13. Recitativo(T), 14. Choral

■みんなで歌いましょう：コラール〈イエス わが喜び〉

曲目解説

カンタータ第76番《主の栄光を天は語り》

Kantate “Die Himmel erzählen die Ehre Gottes” BWV 76

CD 選集「日本語演奏によるバッハ・カンタータ 50 曲選」

〔第10巻〕2005年発行、解説（大村恵美子）より

初演：1723年6月6日（三位一体節後第2日曜日）、
ライプツィヒ。

新トーマス・カントルとして、バッハが前任地ケー
テンからライプツィヒに到着したのは、1723年5月22
日のことだった。5月30日に、就任披露第1作として
BWV75《貧しき者は食し》を上演（ニコライ教会）し、
その第2作として翌週に上演（トーマス教会）された
のが、このBWV76である。

2作品とも2部に分かれた14曲をふくむ大規模な作
品である（曲数の14は、B・A・C・Hの文字数値象徴
として、バッハ自身を名乗る数である）。

楽器編成：トランペット、オーボエ2、オーボエ・
ダモーレ、独奏ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバ、
弦合奏と通奏低音。演奏時間：約35分。

<第1部>

1. 合唱

この日の福音書章句は、ルカ 14：15-24、神の国の
盛大な宴会に招かれた人々の譬えであるが、冒頭合唱
の歌詞は詩編19篇から採られている。ハ長調の雄大、
晴朗な大交響曲となった。快活な前奏のトランペット
による祝祭的な調べに導かれて、合唱とオーケストラ
がポリフォニー楽曲を協奏する。

後半〈語らず言わざれど〉からは、聴く者の耳を
傾注させるような合唱フーガで始まり、次第に昂揚し
て、ふたたびトランペットも加わって、盛大なコーダ
で結ばれる。

2. レチタティーヴォ(T)

自然は人間に語りかけ、中間部では生き生きとした
フィギュレーションの弦楽合奏にともなわれて、その

声に反応する人間の心が、愛の宴（うたげ）にいざなわ
れる。

3. アリア(S)

後世の有名なハイドンのセレナーデに似た、短い〈聞
け 民よ〉のモチーフが、一貫して〈みもとに急げ〉
と促して、〈みもとに帰り来る〉民を樂しげに励ます。

4. レチタティーヴォ(B)

主を離れて生きる民への警告。

5. アリア(B)

バス独唱とトランペットの華麗な挑戦的アリア。

6. レチタティーヴォ(A)

暗き闇より救い出す主に、熱い祈りを、と促して、
次のコラールを導きだす。

7. コラール

トランペットと弦合奏の、独自の音型による前奏・
間奏をともなっていて、ルターの〈われらを恵みて〉M.
Luther „Es woll uns Gott genädig sein“（1523）第1節が、
第1部を壮大に終らせる。

<第2部>

8. シンフォニア

ホ短調、アダージョーヴィヴァーチェ。オーボエ・
ダモーレとヴィオラ・ダ・ガンバ、通奏低音による、
室内樂的な、寛ぎを感じさせる第2部の入りである。

9. レチタティーヴォ(B)

短いセッコ・レチタティーヴォで、戦いのこの世にあ
って依り頼むべき神の国を思う。

10. アリア(T)

〈厭えよ われをば 悪魔よ〉という挑戦的な呼びかけ
は、3. 〈聞け 民よ〉のソプラノ・アリアの呼びかけに
対応しており、またヴィオラ・ダ・ガンバの低音の激し
いモチーフを加えた戦闘的な気迫は、5. バス・アリア
に対応する。

11. レチタティーヴォ(A)

おちついたセッコ・レチタティーヴォで、愛に強めら
れた主の民の態度を述べる。

12. アリア(A)

ひきつづきヴィオラ・ダ・ガンバにオーボエ・ダモー
レが加わって、第2部冒頭の8. シンフォニアの世界に
戻り、イエスにならって〈愛をおこなえ〉と、流麗な
シチリアーナのリズムで、地上での心のやすらぎを歌
う。

13. レチタティーヴォ(T)

神と人との、最終的な和解を証し、神の誉れは永遠
に〈語りつがれん〉と、躍動するアリオーズで終る。

14. コラール

7. と同一の音楽で、コラール第3節が歌われる。第
1部は、地にある自然の雄大さを、第2部はその地
にあって人間が受ける、神の恵みを、より身近な感覚で
歌う。その対比を、7. と 14. のコラール歌詞が表わし
ている。

10 曲の独唱曲 (つづき)

大村恵美子 (主宰者)

ここからは、第 30 曲アルト、第 32 曲バス、第 34 曲テノール、第 35 曲ソプラノと、4 つの独唱曲が堰を切ったように並んでゆく。

⑧ 第 32 曲：バス・アリア (4 声部コラール付) 〈尊き主 問わしめよ〉 Mein treuer Heiland, laß dich fragen

通奏低音のみ。8 分の 12 拍子 (バス)。弦楽合奏。ニ長調。コラールは 4 分の 4 拍子。

先行するスピッカートのチェロ、2 小節あとから同旋律のバス独唱、ついでその 1 小節半後から挿入されるコラールの両者で、イエスが息を引きとったばかりの状況を、静かなコラール (A3) が問いかけ、バスが答える一主の死によって 我らも永遠の生命にあずかれた—という問答で表わしている。主題冒頭のトリラーのかかった 4 分音符が 40 数回も頻発して、イエスの臨終の喘ぎを思わせる。

⑨ 第 34 曲：テノール・アリオージョ 〈あわが心 地の上あまねく〉 Mein Herz in dem die ganze Welt

フルート 2、オーボエ・ダ・カッチャ (またはダモーレ) 2、弦合奏、通奏低音。ト長調、4 分の 4 拍子。

イエスの死の直後、いきなり騒然となる第 33 曲 (いざ見よ 聖所の幕裂け) のエヴァンゲリストの内容をひきつぐこの第 34 曲で、弦楽のトレモロ、32 分音符の上行・下行パッセージによるリアルな地震などの天変地異の描写が、たたみ込まれる。

ちなみに、《ヨハネ受難曲》では、ヨハネ福音書第 18、19 章のほかに、例外的にマタイ福音書から 2 か所の劇的な場面の付加があるが、上述のエヴァンゲリストはそのひとつである (他に第 12 曲 c : 下表参照)。

テノールの最後のフレーズ 〈創り主 失せれば 何をなすべしや?〉 茫然自失の有様である。

マタイ福音書からの付加	
第 12 曲 c 福音史家	ペトロは「鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らなと言うだろう」と言われたイエスの言葉を思い出した。そして外に出て、激しく泣いた。(マタイ 26 : 75)
第 33 曲 福音史家	そのとき、神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂け、地震が起こり、岩が裂け、墓が開いて、眠りについていた多くの聖なる者たちの体が生き返った。(マタイ 27 : 51-52)

⑩ 第 35 曲：ソプラノ・アリア 〈溶けよ 心 涙のうちに〉 Zerfließe, mein Herze, in Fluten der Zähren

フルート・ソロ、オーボエ・ダ・カッチャ・ソロ、通奏低音。ヘ短調、8 分の 3 拍子。

《ヨハネ受難曲》の 3 年後に作られた《マタイ受難曲》では、最後の独唱曲として、第 65 曲バス・アリア

〈きよめよ わが心〉という、完全に信仰に立ち直った使徒の堂々たる歌 (バッハ自身の自画像ともとれる) がそびえ立つのだが、この《ヨハネ》の場合には、バッハはもっと直截的・純真にイエスとの別れを悲しみ嘆く歌で終わらせている。

モルト・アダージョの、これも長い追悼の歌 (6 分)。〈イエス 去りたまえり〉と、口ごもり、長音符の慨嘆、フェルマータのとだえ……、様々な手法で、絶え入るような心のうちを印象づける。

第 30、32、34、35 曲と、終結に向かってまとめられたこれら 4 つの独唱曲は、バッハの最も情熱みなぎる時代の記念碑とも言えよう。ここまで、エヴァンゲリストの忠実な語りと群衆合唱の叫びを交替させながらくり返してきたあと、イエスの死を境にして、バッハ自身のイエスへの熱い思慕が氾濫するに至る。

残るは、淡々たるエヴァンゲリストの結末報告、感謝のコラール、墓前の大合唱、そして永遠へとつながる最終コラール。このように念入りな配慮のもとに、バッハが生涯かけて彫琢をほどこしていった《ヨハネ受難曲》が、完結することになったのである。

【《ヨハネ受難曲》演奏と鑑賞の手引き】了

※当連載は、次々回定演 (下囲み参照) に向けて冊子にまとめる予定です。チケットお求めの皆様、後援会員・団友の皆様には、予めお手許にお届けしたいと思っています。

<次回定期演奏会予告>

第 109 回定期演奏会 創立 50 周年記念公演 [4]
バッハ 4 大合唱作品 [日本語] 連続演奏

2013 年 12 月 7 日 (土)、13 時 30 分開演
杉並公会堂大ホール

教会カンタータ第 76 番《主の栄光を 天は語り》 《クリスマス・オラトリオ》第 IV・V・VI 部

光野孝子 (S)、佐々木まり子 (A)、鳥海 寮 (T)
藪西正道 (B)、東京カンタータ室内管弦楽団
草間美也子 (Org)、東京バッハ合唱団
大村恵美子 (指揮)

チケット発売 9 月 7 日予定

<次々回定期演奏会予告>

第 110 回定期演奏会 創立 50 周年記念公演 [5]
バッハ 4 大合唱作品 [日本語] 連続演奏 (最終回)

2014 年 3 月 15 日 (土)、13 時 30 分開演
杉並公会堂大ホール

《ヨハネ受難曲》

鏡 貴之 (Ev g)、渡邊 明 (Jesus)、光野孝子 (S)
佐々木まり子 (A)、鳥海 寮 (T)、藪西正道 (B)
東京カンタータ室内管弦楽団、草間美也子 (Org)
東京バッハ合唱団、大村恵美子 (指揮)

＜東京バッハ合唱団 今後の活動予定＞

◇野尻湖合宿とコンサート

8月8日(木)～11日(日)、野尻レイクサイドホテル
8月10日(土) 16:00 開演、国際村NLA内・神山教会
カンタータ BWV76 《主の栄光を 天は語り》他

◇《ヨハネ受難曲》特別集中練習

8月後半からの土曜日、3回(8/17、8/24、8/31)
＜詳細＞下記

(8月中の月曜練習は夏季休暇)

◇第109回定期演奏会(前ページに＜予告＞)

12月7日(土) 13:30 開演、杉並公会堂
《クリスマス・オラトリオ》IV-VI、カンタータ BWV76

◇荻窪教会クリスマス演奏会

12月14日(土) 13:30 開演、荻窪教会
《クリスマス・オラトリオ》IV-VI より抜粋

◇第110回定期演奏会(前ページに＜予告＞)

2014年3月15日(土) 13:30 開演、杉並公会堂
《ヨハネ受難曲》(創立50周年記念公演の最終回)

OB/OG 団員のみなさま、月報読者のみなさま

《クリスマス・オラトリオ》後半と《ヨハネ受難曲》のステ
ージに、ぜひご参加ください。練習日程などの詳細は、事
務局までお問い合わせください。ホームページにも年間の
練習予定が掲載されています。http://bachchor-tokyo.jp/

【ヨハネ受難曲】[公開]特別集中練習(日本語)

8/17(土)、8/24(土)、8/31(土)。午後1:00-6:00(各5
時間)。会場:8/17、31…荻窪教会(日本キリスト教団)。

8/24…世田谷平安教会(世田谷区下馬2-41-5)

・3日間とも合唱部分の全曲を通して練習し、随時音取り練
習も行います。

＜参加費＞無料

＜事前準備＞予め各自で楽譜*を入手し、当日までに訳詞の
書き込みを終えてください。使用楽譜:ペーレンライター(新
バッハ全集版)《ヨハネ受難曲》ヴォーカルスコア。

＜お申込み・お問い合わせ＞見学だけの場合もふくめ、参加
希望者は、かならず事前にお申込みください。上演訳詞の入
手方法、会場への交通などの詳細パンフレットご請求は、事
務局まで。

CD: バッハ4大合唱作品 [日本語] 連続演奏

東京バッハ合唱団 創立50周年記念企画(2011-2014)
在庫あります。事務局までお申込みください。

①《口短調ミサ曲》

第106回定期演奏会(2011/12/3・杉並公会堂)
頒価2500円(CD2枚組・プログラム付き、送料無料)

②《クリスマス・オラトリオ-III》+ BWV 71

第107回定期演奏会(2012/11/9・杉並公会堂)
頒価2500円(CD2枚組・プログラム付き、送料無料)

③《マタイ受難曲》

第108回定期演奏会(2013/3/30・紀尾井ホール)
頒価3000円(CD3枚組・プログラム付き、送料無料)
＜以下、順次CD化予定＞

バッハ・カンタータと教会暦の聖句一覧 ⑥

BWV 54 《あらがえ いざ罪に》(1714)

Widerstehe doch der Sünde

【教会暦】復活節前第4日曜日、Oculi(他に=BWV 80a)

[書簡]エフェソ5:1-9。光からあらゆる善意と正義と真実が生じる。
[福音書]ルカ11:14-28。神の指で悪霊を追い出しているのだから、
神の国はあなたたちのところに来ているのだ。

BWV 55 《憐れむべきわれ 罪びと》(1726)

Ich armer Mensch, ich Sündenknecht

【教会暦】三位一体節後第22日曜日(=BWV 89, 115)

[書簡]フィリピ1:3-11。愛の義の実をあふれるほどに受けて、神の
栄光と誉れとを讃えることができるように。
[福音書]マタイ18:23-35。心から兄弟を赦さないなら、天の父もあ
なたがたに同じようになさるであろう。

BWV 56 《十字架を 勇みて負わん》(1726)

Ich will den Kreuzstab gerne tragen

【教会暦】三位一体節後第19日曜日(=BWV 5, 48)

[書簡]エフェソ4:22-28。BWV 5に同じ。
[福音書]マタイ9:1-8。(同上)

BWV 57 《幸なるかな 試みを耐えしのぶ者》(1725)

Selig ist der Mann

【教会暦】ステファノ殉教記念日(12/26 固定。ライブツィヒでは降誕
節第2祝日と隔年)

[書簡]使徒6:8-7:2a、7:51-59。ステファノの説教、殉教。
[福音書]マタイ23:34-39。見よ、お前たちの家は見捨てられて、
荒れ果てる。

BWV 58 《しげき悩み いまわれを襲いきて》II (1727)

Ach Gott, wie manches Herzeleid

【教会暦】新年後日曜日(1/6以前に限る)(=BWV 153, 248^v)

[書簡]第1ペトロ1:12-19。空しい生活から贖われたのは、きずや
汚れのない小羊のようなキリストの尊い血によるのです。
[福音書]マタイ2:13-23。イエスら、エジプトに避難する。

BWV 59 《われをば愛する者 われに従え》I (1723)

Wer mich liebet, der wird mein Wort halten

【教会暦】聖霊降臨節第1祝日(=BWV 34, 74, 172)

[書簡]使徒2:1-13。BWV 34に同じ。
[福音書]ヨハネ14:23-31。(同上)

BWV 60 《雷(いかずち)の言葉 おお なんじ永遠よ》II (1723)

O Ewigkeit, du Donnerwort

【教会暦】三位一体節後第24日曜日(=BWV 26)

[書簡]コロサイ1:9-14。BWV 26に同じ。
[福音書]マタイ9:18-26。(同上)

BWV 61 《いざ来たりませ 世の救い主》I (1714)

Nun komm, der Heiden Heiland I

【教会暦】待降節第1日曜日(=BWV 36, 62)

[書簡]ローマ13:11-14。BWV 36に同じ。
[福音書]マタイ21:1-9。(同上)

BWV 62 《いざ来たりませ 世の救い主》II (1724)

Nun komm, der Heiden Heiland II

【教会暦】待降節第1日曜日(=BWV 36, 61)

[書簡]ローマ13:11-14。BWV 36に同じ。
[福音書]マタイ21:1-9。(同上)

BWV 63 《彫り刻め この日》(1716)

Christen, ätzt diesen Tag

【教会暦】降誕節第1祝日(12/25)(=BWV 91, 110, 191, 248^l)

[書簡]テトス2:11-14。すべての人々に救いをもたらす神の恵みが
現れた。(または)イザヤ9:2-7。ひとりのみどりごがわたしたちの
ために生まれた。

[福音書]ルカ2:1-14。羊飼いに天使が近づいて、救い主の誕生
を告げる。

BWV 64 《見よ かくも大いなる愛》(1723)

Sehet, welch eine Liebe hat uns der Vater erzeiget

【教会暦】降誕節第3祝日(12/27 固定)(=BWV 133, 151, 248^{III})

[書簡]ヘブライ1:1-14。御子は人々の罪を清められた後、天の父
の右の座に着かれた。
[福音書]ヨハネ1:1-14。言(ことば)は肉となって、わたしたちの間
に宿られた。